

新刊紹介

病院 崩壊

吉田 静雄
Shizuo Yoshida

国民は
このままでは
病院でいづれも
医療を受けられなく
なる!!

① 医療消費税、非課税のこまかし
② 複雑すぎる「診療報酬制度」
③ 患者のためにならない「徹底した医療費削減」
医療の平成維新——
迫りくる超高齢社会に
改革は待ったなし

著者 十四回生 吉田 静雄 前尼崎中央病院理事長
発行 幻冬舎 平成二十九年一月より社会医療法人中央会会長
定価 一、五〇〇円十税

吉田静雄さんには会誌19号に医療が直面する問題について鋭い分析をされた論評などをお寄せ頂きました。今回は提起された問題を更に掘り下げ一冊に纏められました。私達高齢者が直面する医療の問題を理解するためぜひ、ご一読お勧め致します。

- 第1章 崩壊への道を突き進む病院の現実
- 第2章 現場無視の医療費削減で困難を極める病院経営
- 第3章 患者第一の病院ほど収益が悪化する事実
- 第4章 日本の病院から「優れた医師」がいなくなる
- 第5章 「患者本位の医療」が正当に評価される診療報酬制度のあるべき姿とは？
- 第6章 民間主導の「地域包括ケアシステム」こそ、エピローグ…医療平成維新一待ったなしの医療改革

病院崩壊

吉田静雄 著
1,500円税別

医療需要が高まる一方で、日本の病院全体の約4割は赤字経営…世界に誇るべき国民皆保険の理念を貫くために、いま、国民・医師・国が直視すべき病院経営の実態！

- ▼「医師不足」患者のたらい回しの悲劇は政策先行が招いた必然
- ▼人件費高騰は熾烈な病院同士の人材獲得競争が原因
- ▼相次ぐ医療事故、医療訴訟で苦しさを増す病院経営
- ▼医療提供体制の再編成で消える病院、残る病院
- ▼非課税は大嘘、国民をあざむく消費税非課税制度
- ▼放置、たらい回し、即退院
- ▼ちくはくな施策が生み出す、医療難民
- ▼過酷な勤務環境に置かれ、疲弊する医師、看護師
- ▼医師の属在は病院の「勝ち組」と「負け組」の格差を鮮明にする
- ▼Aは医療人材の補充役になれるのか
- ▼在宅医療が一向に普及しない本当の理由…ほか

患者のために
ならない
医療費削減

診療報酬制度に
翻弄され続ける
医療機関

加速度的に進む
医師不足

**国民はこのままでは
病院で医療を受けられなくなる……？**